

事務局便り（第一報）

新緑もいつの間にか、緑の色が濃くなってまいりました。遠くに見える山脈の雪もわずかになってきています。全国の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

第42回研究大会HPを開設してから、既に3ヶ月になろうとしています。抄録の募集は始めましたが、なかなか新しい情報をお届けできずに申し訳ありません。それでも、東北で初めて開催される、日本感覚統合学会の研究大会に向けて、東北各地の会員で実行委員会を組織し、東北で唯一人のインストラクターである那須弘明大会長の下、力を合わせて企画・準備しているところです。

本大会は、11月29日、30日（土・日）に宮城県仙台市の東北文化学園大学を会場に現地開催を予定しております。東北は、あっという間に秋が深まって冬になっていく季節になりますが、多くの方々にお越しいただき、東北ならではの研究大会を盛り上げていただきたく思っています。演題登録もぜひよろしくお願いいたします。

これから、開催までの日々、少しずつ東北の美味しいものを紹介しつつ、参加するのが楽しみになるような、情報をお届けしたいと思っています。

まず今回は、開催地の仙台市の美味しいもの情報をお届けします。仙台は、大会のHPに使用しています独眼竜伊達政宗のお城のあった城下町、様々な美術品・工芸品のみならず美味しいものにあふれています。その中でもおいしい和菓子を推したいと思います。萩の月是有名ですし、枝豆のあんこ（ずんだ）を使ったお饅頭の各種もいいのですが、最近羽生弓弦さんのおかげで一挙に知名度を上げた「シーラカンス最中」をお勧めします！なかなか手に入れるのは難しいらしいのですが（私は頂き物しか食べたことはありません）、外のパリッとした最中の中にあんこと塩味のきいたバターがいい味を出していて、何とも言えない不思議でいて癖になる最中です。是非一度食べていただきたい一品です！

東北は、福島・宮城・山形・岩手・青森、さらに今回の開催には北海道の方々にもご協力いただいています。おいしいものにあふれる各地の情報をお届けしてまいりたいと思います。

事務局長 本多ふく代